

## ②さいたま市図書館の一年

### 1 大宮図書館の移転開館

令和元年5月7日に大宮図書館が移転開館し、さいたま市の図書館では初めて指定管理者による管理運営を開始しました。移転開館に伴い、蔵書を約6万冊増やし、中央図書館、大宮西部図書館に次いで、市内で3番目に蔵書数が多い図書館となりました。

また、通常の閲覧や資料等の貸出しに加え、施設内の氷川の杜ひろばでは、オープニング記念コンサートなどのイベントを開催、文学資料コーナーでは「大西民子資料展示コーナー」を始めとして、さいたま市にゆかりのある文学者の作品などの展示や、それに関連するイベントを計画的に開催することにより、多くの皆様にご来館いただきました。

新しい大宮図書館は、「にぎわいからハタラキを起こす」をテーマとし、4つのコンセプトを掲げるにより「地域の知の拠点」として市民ニーズに応え、多くの皆様が利用しやすい図書館となるようサービスを提供してまいります。

### 2 若者向けイベント「図書館部」の開催

さいたま市図書館ビジョンの「知的好奇心に応える図書館」としての役割を果たすため、若者への本を通じたコミュニケーションの場を提供し、参加者の活動を図書館に還元するイベント「図書館部」を開催しました。

移転開館した大宮図書館を会場に全4回開催し、参加者が打ち解けるためのボードゲームや、図書館に展示する本のテーマ決めを行ったり、POPの作成などに取り組みました。作成したテーマ・POPは実際に大宮図書館で展示され、展示した本は利用者に貸出できるようにしました。

「図書館部」の実施後の参加者アンケートには「また開催してほしい」「同世代と交流する機会がないので楽しめた」といった感想が寄せられるなど、好評を博しました。

### 3 瀬田貞二没後40年

さいたま市ゆかりの児童文学者・瀬田貞二氏の没後40年に際し、中央図書館では「児童文学者・瀬田貞二のまなざし」と題して、児童文学作家の齋藤惇夫氏を講師にお招きし、記念講演会を開催しました。

また、各図書館では特別展示の開催やリーフレットを作成し来館者へ配布しました。

### 4 図書館施設リフレッシュ工事

平成28年3月に策定した「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、老朽化対策をはじめ、バリアフリー化や省エネルギー化を図るための施設改修を実施し、長期的に安全・安心に利用できる施設整備を計画的に進めています。

令和元年度は岩槻駅東口図書館の中規模修繕を行いました。